

堀岡 敏喜 議員



市民が実践できる温暖化対策を示した市民活動計画の確立を

問

地球温暖化問題についての取り組みを尋ねる。

- (1) 市民が実践できる市民活動計画の確立についての認識と今後の対応
- (2) 環境教育のさらなる取り組みを聞く。

環境基本計画を策定する予定である

答 環境課長

(1) 特色ある環境自治体形成の指針となる、環境基本計画を策定する計画である。

現在は①広報に地球温暖化に関する連載②幼児に環境絵本の貸し出し③親子



ペットボトル回収ボックス(栄南小学校)

環境施設見学会④健康づくりフェスティバルでの水素燃料自動車試乗会⑤市職員による月1回のノーカーデー、毎週水曜日のノー残業デーによる省エネ等を行っている。

(2) 20年度から、小・中学校でペットボトルの回収を始め、八穂クリーンセンター見学を行う学校もある。21年度に二つの学校にエコハイブリッド街灯を設置する。

市民の防災意識の高揚を図る考えは

問

防災月間の9月に防災意識を高め、具体的な防災行動に結び付けるための市の考えを聞く。

地域防災計画を根付かせたい

答 市長

(3月に策定した)地域防災計画を、それぞれのコミュニティにしっかりと根付かせたいと思っている。

10月には洪水ハザードマップを各家庭に配布し、同報無線【注】は12月末までに市全域を整備する。自主防災組織は、3、4年先には100%まで達成するよう、今後も(各地域に)依頼していきたい。

【注】市内89カ所のスピーカーで防災情報や避難勧告等を放送する設備。19・20年度事業で、一部地域は運用中である。

小・中学校耐震化の現状と今後は

問

小・中学校の耐震化工事の現在の状況と今後の予定を聞く。

21年度末に耐震化率91%を見込んでいる

答 教育課長

20年度当初の耐震化率は約63%で、年度末は約71%になる予定である。

現在、弥生小と桜小北校舎、白鳥小体育館を施工中である。耐震補強ができない十四山東部小北校舎の西渡り廊下は、取り壊しを予定している。

21年度は栄南と大藤小体育館、弥富北中校舎、弥生小南校舎、白鳥小北校舎を予定。21年度末は耐震化率約91%を見込み、22年度末にはすべて完了する予定である。